



A 真玉プロジェクト

花と人、コントロールできないけれども、共に生きる チームラボ

真玉海岸は大分県で唯一、水平線に沈む夕陽を眺めることができると場所です。この海岸沿いにたたずむ元縫製工場には、インタラクティブなデジタルインスタレーション作品が設置されています。この作品を制作したチームラボ代表の猪子氏は、国東半島のいたるところに咲く花々に心地よさを感じるとともに、その心地よい自然とは、完全にコントロールすることはできないという前提のもとに、人為的に作られたものであることに気づいたと言います。

この作品は、無数の花々が咲いては散り、枯れていくサイクルを繰り返しています。しかし、どの瞬間も同じではありません。あらかじめ記録された映像を再生しているのではなく、その場にいる鑑賞者の動作によって一斉に咲き渡ったり枯れていったりと、人の影響を受けながら変容を続けています。

こうして人と自然との関わりを表現することで、この作品は未来への提言をしているかのようです。

場 所：大分県豊後高田市白野
カーナビ検索：真玉海岸
鑑賞可能時間：10:00～16:00(最終入場 15:30)
入館料：一般 300円 / 大学生・高校生 200円 / 中学生以下無料
※3～5月・7～9月は水曜休館、6月・10～2月は土・日・祝のみの開館

チームラボ

teamLab

プログラマ・エンジニア、数学者、建築家、CG アニメーター、Webデザイナー、グラフィックデザイナー、絵師、編集者など、スペシャリストから構成されているウルトラテクノロジスト集団。代表の猪子寿之は1977年徳島県生まれ。2001年東京大学工学部計数工学科卒業と同時にチームラボ創業。サイエンス・テクノロジー・アート・デザインの境界線を曖昧にしながら活動中。



干潮と日没の時間が重なる日には、遠浅の海岸線に夕陽が沈む幻想的な光景を見ることができます。



B 香々地プロジェクト

見えないベンチ

岬の13箇所に設置された、国東石製のベンチ。そのそばには、メッセージが刻まれた石碑が埋められています。ベンチに座り、石碑に刻まれた言葉の世界に身を委ねると、目の前の風景が全く異なるものに見えてきます。

念願の木

願い事を書いた短冊に吊るしてください。「念願の木」は願いを叶える木ではなく、自分の力で未来を作ることができる事を信じたための木。願い事はアイスランドにある「イマジン・ピース・タワー」に納められ、空へと届けられます。



オノ・ヨーコ Yoko Ono

1933年東京都生まれ。アーティスト。1953年にニューヨークに移住。日本での主な活動に、パフォーマンス作品「Cut Piece」や、言葉を用いたコンセプチュアル作品「Grapefruit」など1969年、ジョン・レノンとともに平和活動を開始し、世界中で「War Is Over! (if you want it)」キャンペーンを展開。2009年にはヴェネツィア・ビエンナーレから生涯功績に対して金獅子賞を授与される。

場 所：大分県豊後高田市見目 4060
カーナビ検索：長崎鼻リゾートキャンプ場

色色色

段々畑の一一番にあるピラミッド型の花壇は、この岬に花が咲き乱れる季節になると、大地と一緒に、一つの彫刻作品が完成します。咲く花や周囲の光景によって刻々と表情を変えるこの作品の頂上には展望台があり、岬全体を見渡すことができます。そして、そこには立つ人々の姿もまた作品の一部となります。

チエ・ジョンファ Choi Jeong Hwa

1961年ソウル生まれ。韓国の現代美術界を代表するアーティスト。日常的なものを用いて鮮やかなオブジェ作品などをつくり出し、ヴェネツィア・ビエンナーレはじめ、光州ビエンナーレやソウル・ビエンナーレなどの大規模な国際芸術展、アジアや欧米での展覧会に数多く参加。アーティストであると同時に、デザイナーとしても活躍している。



C 岐部プロジェクト

説教壇 川俣 正



川俣 正 Tadashi Kawamata

1953年生まれ。28歳でヴェネツィア・ビエンナーレの参加アーティストに選ばれて以降、欧米を中心に高い評価を獲得し続け、2005年には横浜トリエンナーレの総合ディレクターを務めた。また、東京藝術大学の先端芸術表現科の立ち上げに主任教授として着任し、既存の美術表現の枠組みを超える試みを実践。現在はフランス、パリ国立高等芸術学院の教授を務める。



森の樹々に設置された鳥の巣箱は、地域の方々とのワークショップで制作されました。



E 並石プロジェクト

月の木・光の水滴 勅使川原 三郎

並石ダムは、かつて鬼が住んでいたという言い伝えのある、大きな横穴の開いた岩山のふもとにあります。勅使川原氏がはじめにこの地を訪れたのは、ちょうど満月の日でした。あたりを赤く染めながらゆっくりと陽が沈むと、つかの間の闇が訪れ、やがて柔らかな月の光が足元を照らしました。その月明かりの下でダムの周りを歩いたときに、昼間は気に留めなかったささいな音や風にも気づくほどに、自分の五感が開くのを感じたと言います。勅使川原氏は、この感覚を呼び起こすための最低限の仕掛けとして、ここにガラスの塔を作りました。

塔は光の加減や時間帯や角度などによって、輝きを増したり消失したり、湖面に幻想的な影を落としたりと、さまざまな表情を見せます。散策に要する時間は約40分程度です。湖畔をゆっくりと散策しながら、刻一刻と変化し続ける光と水と作品が織りなす風景をお楽しみください。

場 所：大分県豊後高田市一畠 1587
カーナビ検索：並石ダムグリーンランド



勅使川原 三郎 Saburo Teshigawara

ダンサー、演出家、振付家。1985年以降、自身のカンパニーKARASと共に世界中で公演を行う。呼吸を基礎にした独自のダンスマソッドと、光・音・空気・身体によって空間を質的に変化させる独創的な作品は世界のアートシーンから高い評価を受け、造形作家、映像作家としての活動も注目される。バリ・オペラ座をはじめ欧州の主要バレエ団への振付や、ヴェニス・フェニーチェ歌劇場のオペラ演出なども相次いでいる。平成21年度紫綬褒章受賞者

場 所：大分県国東市国見町岐部 536
カーナビ検索：国見ふるさと展示館

F 千燈プロジェクト

ANOTHER TIME XX アントニー・ゴームリー



アントニー・ゴームリー Antony Gormley

1950年ロンドン生まれ。彫刻家。主な作品にエンジェル・オブ・ザ・ノース(イギリス)、アナザー・ブレイス(イギリス)など。主な国際展にヴェネツィア・ビエンナーレ(1982年・1986年)、ドクメンタ8(ドイツ)など。1994年ターナー賞、1997年大英帝国勲章(OBE)授与。2003年から王立芸術院の会員、2007年から大英博物館の理事を務める。2013年、高松宮殿下記念世界文化賞(彫刻部門)授賞



地域の方々の知恵と技によって、簡易の索道を設け、険しい岩場まで作品を運搬しました。



D 成仏プロジェクト

Hundred Life Houses 宮島達男

火碎流の影響で多くの岩場が形成されている国東半島。古来から人々はその岩肌に祈りを込めて数多くの仏の姿を刻み込んできました。一説には国内の石仏磨崖仏の7割以上が大分県に集中しており、さらに現存するものの大半が国東半島にあると言われています。

現代の磨崖仏を目指した宮島氏は、縄文時代の出土品が発掘された成仏地区の遺跡に面した岩肌に作品を設置しました。100個のカウンターガジェットが岩肌に取り付けられ、各々の速度で9から1まで、または1から9までの数字を刻みます。そして0の間に暗転し、またカウントをはじめます。これは宮島氏の代表的な手法で、生まれては死んでいく命とその輪廻を表現しています。

この地に脈々と受け継がれている生命とその営みを表現した宮島氏の作品は、地域の方々と30歳以下の若者、中国と韓国の留学生、計100名を対象にしたワークショップを通じて完成し、多くの交流も生みました。

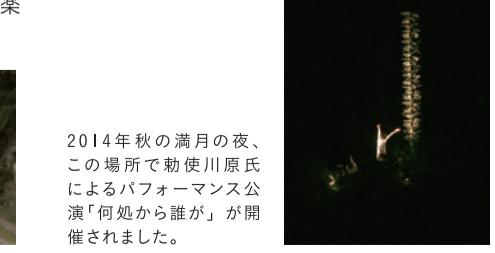
場 所：大分県国東市国見町成仏 成仏岩陰遺跡入口
カーナビ検索：成仏寺
鑑賞可能時間：9:00～18:00

宮島達男 Tatsuo Miyajima

1957年東京都生まれ。現代美術家。京都造形芸術大学 / 東北芸術工科大学 副学長。1988年ヴェネツィア・ビエンナーレに招待され国際的に注目を集め。以来「Art in You(芸術はあなたの中にある)」という考え方を基盤に、世界30カ国250か所以上で発表する。1998年ロンドン・インスピティュート名譽博士。被爆した柿の木二世を世界の子どもたちに育ててもらおう「時の蘇生」柿の木プロジェクトを推進している。



ワークショップでは、各自がカウンターを好きなスピードで設定し、それを収めるためのコンクリートの木を作りました。



場 所：大分県国東市国見町千燈
カーナビ検索：千燈寺

